

AEDによる救命処置で人命救助に貢献

ホテルメトロポリタン エドモント

東京消防庁消防総監より感謝状を受領

【2019年10月】東京 --- ホテルメトロポリタン エドモント（所在地／千代田区飯田橋、総支配人／松田秀明）の従業員3名は、心肺停止に陥った宿泊客に対し、救命処置を迅速に行い、人命救助に貢献したとして、10月21日（月）に東京消防庁消防総監より感謝状が授与されました。



左から総支配人松田 秀明、神成 茜、小島 国美、桑原 和希、藤木廻町消防署長 ▲

9月28日の朝、宿泊中のお客様が客室内で心肺停止の状態に陥り、同行のお客様より連絡を受けて駆けつけた従業員3名は、速やかな119番通報の後、AEDによる除細動、気道確保、心臓マッサージ、救急隊の誘導など、一連の救助活動を連携して行い、お客様はその場で呼吸と脈を回復することができました。その後、搬送先の病院で意識が戻り、現在は無事退院し、社会復帰されたと伺っております。

ホテルメトロポリタン エドモントでは、全従業員を対象として普通救命講習を毎年2回実施しており、日頃の訓練が今回の迅速な対応につながりました。いざという時にお客様の安全を守る行動が取れるよう、今後も引き続き、応急救護体制の構築を図って参ります。

- 被表彰者
- | | | |
|-------|--------------|-----------------|
| 宿泊料飲部 | アシスタントマネージャー | 小島 国美（こじま くによし） |
| | フロントスタッフ | 桑原 和希（くわばら かずき） |
| | ベルスタッフ | 神成 茜（かんなり あかね） |

感謝状授与式

10月21日（月）、ホテルメトロポリタン エドモントの宴会場にて感謝状の授与式が行われ、藤木麴町消防署長より感謝状が伝達されました。藤木署長は、「3名の迅速かつ適切な行動により、大切な命が救われました。日頃の訓練が今回の素晴らしい対応につながったのだと思います。」と感謝の言葉を述べられ、3名の勇気をたたえました。また、表彰を受けたフロントスタッフの桑原は、「10日前に普通救命講習の再講習を受けたばかりだったので、自然と体が動き、冷静に対応することができました。お客様に安心してホテルを利用していただけよう、引き続き、応急救護について学んでいきます。」と述べました。



▲授与式後に麴町消防署長との意見交換会を行いました。

ホテルメトロポリタン エドモントの応急救護体制づくりのための取り組み

ホテルメトロポリタン エドモントでは、毎年2回の普通救命講習をホテルの宴会場で実施しており、テナントスタッフを含めた全従業員の9割以上が救命技能認定証の交付を受けています（10/1 現在 339名、全従業員の92%）。普通救命講習では、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使い方、異物除去、止血法などの応急手当の知識や技術について学び、緊急時に速やかに対応できる体制づくりに努めています。



▲宴会場での普通救命講習の様子 ▲